

理事会だより

発行責任者:専務理事 斎藤孝司
2019年3月18日

2019年度方針案決定

いよいよ新しい年度がスタートします。2018年度の成果を土台に、地域のニーズに応えて広島医療生協の事業と運動の持続的な発展をめざして活動をすすめます。下記が各項目の柱の方針となります。

1. 医療福祉生協の地域包括ケアの実現

困りごとの解決などおたがい様の助け合い活動や他団体との連携をつうじたサロンや介護予防の活動をすすめます。

2. 協同組合間共同・連携

生協陣営の介護事業戦略を明らかにする三生協の協議体に参加し、連携をつうじた人材確保と高齢者の住まいを含む新事業計画づくりに取り組みます。

2. 「いのちの章典」を実践する人づくり

「医療福祉生協の地域包括ケア」「いのちの章典」を実践する組合員の育成に取り組みます。「SDGs」についての学習に取り組みます。

4. 災害支援・災害対策

2018年度の災害の教訓を生かし、災害に強いまちづくり、をともにすすめ、共立病院は災害拠点病院をめざします。

5. 健康づくり

健康チャレンジの取り組みを発展させるとともに、ルル予防など健康寿命を延ばす活動を重視して取り組みます。

6. 医療福祉活動

地域の人びとの生きる権利を守り、医療と介護の連携という強みを生かして、地域の要求実現に力を尽くします。

7. 明るいまちづくり

憲法9条と憲法25条で示された平和と生存権保障の実現のため、地域の様々な人びとの手をつなぎ取り組みます。

7. 組織づくり

日常生活圏での組合員同士のつながりを強め、支部運営委員に留まらず、様々な担い手の育成に取り組みます。2000名の仲間ふやし、1億2千万円の増資を目標とします。

8. 経営・マネジメント

13億円を超える赤字を計画的に解消する。一歩とするために7000万円以上の経常利益の達成をめざします。

9. 専門職等の確保・養成

新たに入職した3名の研修医の成長を医療福祉生協あげて支援します。

役員交代のお知らせ

5月1日付をもって。下記の人事を行うことを理事会で承認しました。

信野哲三

新 代表理事専務理事 旧 常務理事

斎藤孝司

新 常務理事 旧 代表理事専務理事

学ぼう!SDGs

SDGs（エスディージーズ）とは、持続可能な開発目標の略称で、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。貧困や飢餓ゼロ、すべての人びとの健康と福祉を、平和と公正を世界の人びとになど、17の目標を掲げ、2030年までの達成を呼びかけています。下記がSDGsのロゴマークとなります。広島医療生協が掲げている理念や目標とも一致しています。2019年度は、まず、SDGsとは何かの学習に取り組み、世界的な運動へ呼応することを方針としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



【2月の経営】

経常剰余が予算を446万円下回る

2月の事業活動は経常剰余1,964万円の赤字で予算を446万円下回りました。事業収益で予算を725万円下回ったことが要因で、経常剰余では予算未達成となりました。2月末までの累計で、経常剰余は5,636万円の赤字で、2,889万円の黒字予算に対して、予算差は△8,525万円となり、約470万円先月より差が拡大しました。2019年度以降の展望を切り開くためにも、第4四半期（1～3月）の予算達成は極めて重要です。新年度の好スタートを切るためにも3月予算の超過達成に全力を注ぎましょう。

単位:万円

2月累計	実績	予算	予算差	前年	前年差
収益	46684	47409	▲725	44147	2536
経常剰余	▲1964	▲1479	▲466	▲3026	1063

第58回総代会第10回理事会

【協議決定事項】

- 2018年度まとめと2019年度方針原案の承認
- 役員人事について
- 役員報酬規定の改定について
- 居宅支援事業所の統合についての承認
- 第二次予算案の集約状況
- 春闘二次回答の承認と団体交渉の状況について

【報告承認事項】 常務理事会（3/7）の報告

- 事務局報告等 /3. 専門委員会報告/その他

